

2019年7月 梅雨前線に伴う瀬戸石ダム通砂／排砂運用の実施について  
(2019年度第2回)

2019年7月22日  
電源開発株式会社  
西日本支店

# 1. ダム通砂／排砂運用実施概要

## ①出水の概要

- ・梅雨前線の影響により、球磨川流域では2019年7月13日より雨が降り始め、期間中の瀬戸石ダム流域における最大雨量は、山江地点における時間雨量72.5mm、湯前横谷地点における日雨量233.5mm(7/13)であった。

気象庁雨量データ(2日間総雨量)

観測地点	人吉	山江	五木	多良木	湯前横谷	上	一勝地
総雨量(7/13~7/14)	229mm	172mm	105mm	201mm	257mm	247mm	174mm

- ・その結果、瀬戸石ダムの最大流入量は3,200m<sup>3</sup>/秒(7/14 00:00)であった。

## ②通砂／排砂運用概要

- ・2019年7月12日15時00分より瀬戸石ダムの水位を通砂／排砂運用水位に向けて低下開始
- ・2019年7月13日9時00分時点において、流入量の増加は無いものの、梅雨前線の影響による降雨が予想されたことから通砂／排砂運用水位+1.1mを維持
- ・降雨により流入量の増加が予想されたことから、2019年7月13日19時00分より瀬戸石ダムの水位を通砂／排砂運用水位に向けて低下開始
- ・2019年7月14日0時00分に最大流入量3,200m<sup>3</sup>/秒となる
- ・流入量の減少により2019年7月14日15時00分に通砂／排砂運用を終了し、瀬戸石ダムの水位を回復

### ③通砂／排砂実施中の水質、現場巡視結果

- ・通砂／排砂実施中の濁度は、既往の同規模出水時の実績と大きな差はなかった。
- ・通砂／排砂実施中の現場巡視の結果、ダムおよびダム湖の異常等は確認されなかった。

## 2. 状況写真



瀬戸石ダム通砂／排砂運用中状況(7月14日00時00分、3, 200m<sup>3</sup>／秒 放流状況)